

'17	社	1
中		9

[注] 答えはすべて、解答用紙の定められたところに記入しなさい。

1 つぎの文を読んで、あとの1から7までの各問いに答えなさい。

2016年は、<sup>みなまた</sup>水俣病が公式に報告されてからちょうど60年目にあたります。夏休み、<sup>かずひこ</sup>和彦君は水俣病に関する本をさがして読んでみることにしました。図書室でさがしていると『よかたい先生』という一冊の本を見つけました。この本は水俣病の研究に生涯をささげた<sup>しょうがい</sup>原田正純<sup>はらだまさずみ</sup>というお医者さんのお話でした。さっそく、和彦君は本を読んでみました。するとこの本の終わりのほうに、次のような文章がありました。

水俣病事件が、<sup>かんじゃ</sup>医学的に<sup>しょうじょう</sup>患者の症状を特定することだけを問題にしてきたことが、水俣病の<sup>おく</sup>解明や救済、解決を遅らせた原因だとぼくは思っどるんだ。今後の社会のことを考えて、何か起こった時にいろんな方面にわたる専門家のネットワークがあれば、早く原因の究明と解決、救済ができるはず。そのための学問を「水俣学」ということにした。

1901年(明治34年)に、<sup>しょうぞう</sup>田中正造<sup>てんのう</sup>が<sup>じきそ</sup>天皇に直訴した事件で有名になった( a )<sup>やなか</sup>鉍毒事件があったころ、「谷中学」というものをしていたことをもとに考えたんだ。鉍毒で<sup>ひがい</sup>田畑があらされ被害をうけていた谷中村の「谷中」だよ。

( a ) 鉍毒事件の研究会は全国に広まり、学者だけでなく市民が参加し、いろんな研究会が生まれて、日本の近代文化のよくない面を明らかにした。それならできると思ったんだ。歴史上、今までにないひどい公害、水俣病事件も次の世代に残したい大事なことがたくさんある。水俣に起こったことは、多くの人が病気になる、<sup>かんきょう</sup>環境が<sup>はかい</sup>破壊されたことだけではない。漁業をはじめ、水俣の産業や経済、文化やくらしが傷つけられ、さまざまな「負の遺産」を背負ってしまったんだ。この事件がどんなふうに報道され、伝えられたか。そのことで社会はどのように変わったか、変わらなかったかも、大きな目でとらえ直さなくては。そうすることで、政治、経済、文化、法律、社会学、<sup>ふくし</sup>福祉、科学技術、あらゆる面から未来に生かせることがある。だから水俣学は決して、水俣病学ではないんだ。考えるときの立つ位置は、必ず弱者におき、<sup>こ</sup>専門家・非専門家、当事者・非当事者、国を越えて自由に参加できるようにした。だから、講義といっても先生と名のつく人ばかりが話をするわけではない。<sup>かんじゃ</sup>患者さんもいれば、<sup>かんじや</sup>チッソ労働者側の人や、法律の専門家がおり、漁業をしどる人もおる。そうして、その話を聞きたい人はだれでも聞けるようにしたんだよ。(中略)

ぼくはね、<sup>くまもと</sup>熊本大学から<sup>のこうそく</sup>熊本学園大学に移って、大きな病気をしたんだ。<sup>のうこうそく</sup>脳梗塞やら、がんやらね。長く入院している間にいろいろ考えたんだ。今のぼくたちは本当に豊かになったのだろうか。戦後、ぼくたちは信じられないほど便利で快適な暮らしを手に入れた。夢のようなことができるようになったよね？食べ物を温められる電子レンジ。生肉も何日か、買い置きができる冷蔵庫、そして、ラップ、アルミホイルやら、数えきれんほどの便利さを手にしたぼくたちが、逆に手ばなししたものがあるんだよ。それは心と頭ですよ。そう思わんですか？時間をかけずに何でも便利にできるようになったぼくたちは、心を使うことも、頭を使う回数も減ってしまったね。それは想像力が弱くなったということなんだ。たとえば、<sup>とうふ</sup>豆腐を入れて持って帰った容器を処分するのに、むかしだったらなべからざーっと水を捨てて洗うだけだったのが、今はプラスチックのパックに入り、それが不燃ごみになったりする。高熱処理で焼かなければ自然にもどすことができないものを、毎日、あたりまえのように使うと。どこが環境にやさしいくらしなんだか、教えてくれといいたくなる。家族の状態を細やかに考える心は弱くなって、できるだけむだを出さない買い物をしなきゃ、という頭も使わなくなっていると思うんだよ。

今、公害問題という言葉はなくなりかけとるね。環境問題を研究しますというと、予算がおりる。でも、公害というのだれもふりむかん。おかしいでしょう？「公害」というと、どうしても水や空気、土を<sup>おせん</sup>汚染した企業のあり方を<sup>きぎょう</sup>非難することになるからね。世界ではもっと水銀公害の研究は進められとるよ。<sup>おおぜい</sup>大勢の被害者を出したこの国が、なぜ、先頭にたって研究をせんのか？失敗を未来に生かそうとしない考え方に、ぼくは見のがせない大きな問題を感じるね。これからの君たちは、どうか、心を育ててほしい。思いやりと想像力も。

この部分を読んで、和彦君はなぜ原田先生が水俣病の研究に生涯をささげたのが少しわかったような気がしました。そして水俣病のことをさらに深く知りたくなりました。(学研『よかたい先生』から引用し、表記を一部改めた。)

'17	社	2
中		9

- 1 文中の ( a ) にあてはまる語句を書きなさい。
- 2 水俣病に関連した文として正しくないものを、つぎのアからカまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。

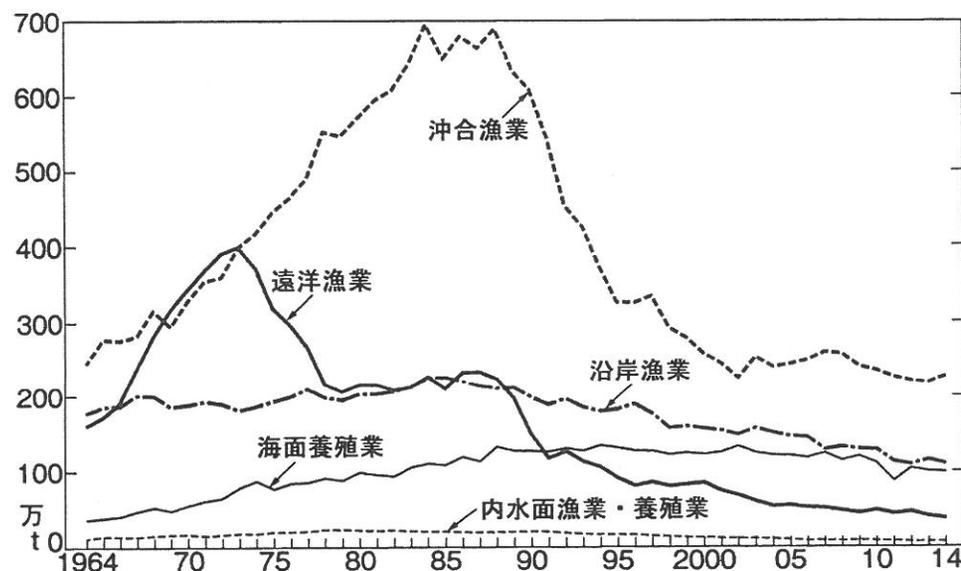
- ア 水俣病は熊本県水俣市を中心に発生した公害病である。
- イ 水俣病の原因物質は、チッソの工場排水にふくまれていたカドミウムである。
- ウ 水俣病の発病原因は、おもに魚介類を食べることによって原因物質が体内に入ったことである。
- エ 水俣病の患者は現在一人も生きておらず、水俣病は終わった出来事となっている。
- オ 新潟県でも水俣病と同じ原因物質により公害病が発生し、新潟水俣病と呼ばれている。
- カ 水俣病が公式に報告されたのは、1956年のことである。

- 3 水俣学に関連した文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 水俣学の考え方は「谷中学」の活動を参考にしている。
- イ 水俣学はおもに水俣病の原因を研究することが目的であった。
- ウ 水俣学の研究に海外の研究者は参加できなかった。
- エ 水俣学の講義は水俣病の患者やチッソの労働者も行った。
- オ 水俣学は国や原因企業であるチッソの立場にたった研究であった。

- 4 つぎの図は、日本における漁業種類別生産量の推移をあらわしたものである。この図を参考にして、漁業に関連してのべた文として正しくないものを、つぎのアからカまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

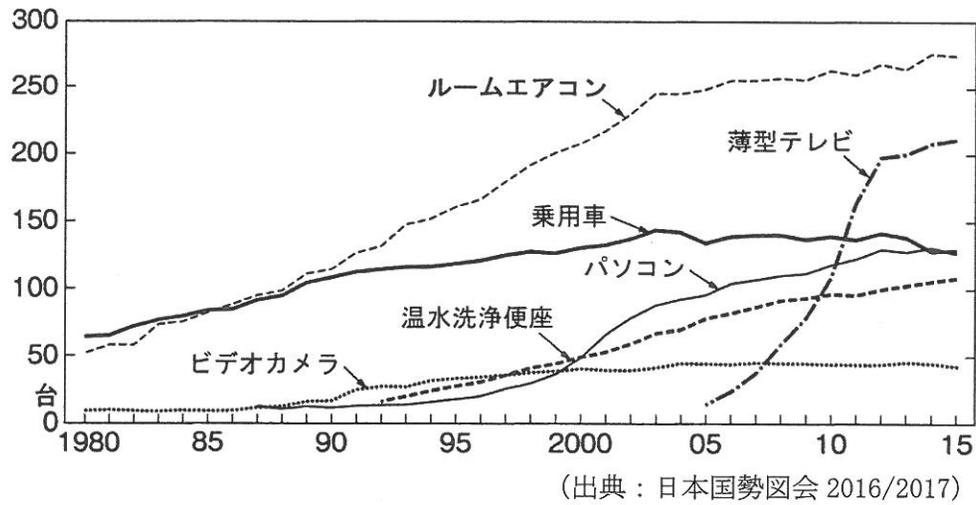
- ア 1970年代はじめは、遠洋漁業がもっとも多く生産をあげていたが、200カイリ漁業水域の影響により減少した。
- イ 1964年以降で見ると、1980年代に日本の生産量はもっとも多い時期をむかえており、その中心は沖合漁業だった。
- ウ 沿岸漁業は減少しているものの、現在最も多く生産をあげている。
- エ 海面養殖業は2011年に生産量が下がっているが、それは東日本大震災の影響と考えられる。
- オ 海面養殖業で育てているものとしては、ホタテガイやカキなどがあり、最近ではマグロの養殖も行われている。
- カ 内水面養殖業で育てているものとしては、ウナギやコイなどのほか、ワカメやノリがある。



※内水面漁業とは、池・沼・川などの漁業をさす。(出典：日本国勢図会 2016/2017)

'17	社	3
中		9

5 快適なくらしについて、つぎの図は、100世帯あたりの耐久消費材保有台数の変化をあらわしたものである。この図に関連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでのの中から二つ選び、その記号を書きなさい。



- ア ルームエアコンは、2000年代になると、平均で1世帯に3台以上はあることが読み取れる。
- イ 乗用車の保有台数は、2003年ころが最も多く、近年は減少傾向にある。
- ウ 近年、ビデオカメラはおおよそ一家に一台あると考えられる。
- エ 薄型テレビは、商品として世の中に出回りはじめたころからグラフに登場する。
- オ 温水洗浄便座は保有台数がじょじょに増加し、今やパソコンを上回っている。

6 公害問題に関連して、以下のアからスまでの場所から、四大公害の発生地域を四つ選び、その記号を書きなさい。



'17	社	4
中		9

7 環境問題に関連して、以下の表は日本の公害苦情処理件数を示したものである。典型7公害の一つとされる表中の( )にあてはまる語句を書きなさい。ひらがなで書いてもよい。

公害の種類	件数 (2014年)	公害の種類	件数 (2014年)
1. ( )	17,202	6. 土壌汚染	174
2. 大気汚染	15,879	7. 地盤沈下	26
3. 悪臭	9,962	それ以外の公害	22,873
4. 水質汚濁	6,839	うち廃棄物投棄	10,367
5. 振動	1,830	計	74,785

(出典：日本国勢図会 2016/2017)

2 つぎの文を読んで、あとの1から6までの各問いに答えなさい。

私たちの日々のくらしからどれぐらいのごみが出ているか、調べたことはありますか。ごみは、汚泥や廃油など法令で定められた20種類の「産業廃棄物」と、その他の「一般廃棄物」に分類されます。日本で1年間に出る産業廃棄物の量は3億8,470万トン(2013年)で、その処理責任はごみを出した事業者にあります。家庭ごみを含む「一般廃棄物」の量は4,432万トン(2014年)で、その処理責任は市区町村にあります。日本における一般廃棄物の排出量の推移をみると、高度経済成長期に急増した後、おおむね右肩上がりが増え続け、2000年の5,483万トンをピークとして、それ以降は減少しています。2014年の排出量をピーク時と比較すると、2割ほど減っていることになります。

ごみが増え続けていた時代に、自治体は、焼却施設の建設と、焼却灰や不燃ごみを埋め立てる最終処分場の整備に追われました。「燃やして埋める」というのがごみ処理の唯一の方法だったのです。ごみ処理問題は、しばしば地域社会に深刻な対立をもたらしました。愛知県の藤前干潟は、渡り鳥が集まる場所として知られ、現在はラムサール条約にも登録されています。かつて、この貴重な干潟をごみの処分場として埋め立てる計画がありました。1990年代、以前からごみの増加に悩んできた名古屋市は、干潟の近くに1日1,500トンの焼却能力をもつ新しい焼却工場を完成させました。こうして焼却施設の確保を進めたものの、岐阜県多治見市にある処分場は2001年に満杯になる見通しでした。そこで、干潟を埋め立てて新たな処分場にしようとしたのです。この動きに対して、環境保護をうたえる市民運動が活発に行われ、環境庁(当時)も反対の姿勢を強く示しました。結局、1999年に市は埋め立て計画の断念を発表しました。続けて市は「ごみ非常事態」を宣言し、ごみの減量と分別収集に徹底的に取り組みました。あふれるごみを「燃やして埋める」だけの処理から、リデュースとリサイクルへと大きくかじをきったのです。その後、資源ごみを除くごみの量は大きく減りました。1998年に99.7万トンだったごみ処理量は、そのわずか2年後に76.5万トンまで減り、2014年には62万トンとなっています。しかし、ごみの処理費用が減ったわけではありませんでした。リサイクルのしくみをつくって維持するために多くの費用がかかり、名古屋市関係者が自らの自治体を「リサイクル貧乏」と呼ぶこともありました。

名古屋市の経験は、都市が抱えるごみ処理の課題を明らかにしたと言えるかもしれません。最終処分場の確保は、近年でも、都市部の自治体を悩ませる課題の一つです。ごみの焼却施設は多くの自治体がありますが、最終処分場を確保できず、トラックで遠方に運んで民間業者に処理を任せている場合が少なくありません。都市のごみが運ばれてくる自治体では、とくに産業廃棄物の処分場の建設をめぐる住民投票にまで発展することがあり、その結果の多くは「建設反対」が多数派となっています。ごみ処理施設の確保は、NIMBY問題、つまり「(必要なのはわかるが) わが家の裏には来な

'17	社	5
中		9

いでくれ」という反応を引き起こす社会問題になることがあります。

リサイクルにかかる費用を誰がどれくらい負担すべきか、ということも重要な課題です。名古屋市のように、リサイクル費用が財政を苦しめている自治体は、「ごみになるもの（プラスチック容器など）を販売している事業者（メーカーやスーパーなど）が処理費用を負担すべきだ」と主張します。このような考え方は、生産者に対して、製品の生産だけでなく、処理の責任までその一部を負わせるもので、「拡大生産者責任」といいます。これを制度的に実現した先駆けであるドイツでは、容器包装の回収を事業者に義務付け、事業者団体らがリサイクル会社を設立して回収と処理を担っています。日本でも、循環型社会形成推進基本法などにその考え方が示されているものの、本格的な導入には至っていません。

ごみ問題は、私たちの誰もが毎日の生活の中でかかわり、一人ひとりの行動が直接影響を与えるという意味で、最も身近な社会問題といえるでしょう。そして同時に、放置すれば早々に処理が追い付かなくなることが確実な、「待ったなし」の問題でもあります。いま、日本のリサイクル技術、たとえばプラスチックごみを燃料油に変える装置などが、ごみ問題に悩む世界の各地で注目されています。私たちは、こうした技術開発だけでなく、国内外の様々な地域の経験に学びつつ、社会のしくみについても知恵をしばって議論していく必要があるでしょう。

1 一般廃棄物の排出量が減ってきていることの背景と考えられる説明として適切でないものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 景気が回復し、商品の輸出が増えた。
- イ 人口が右肩上がりが増加する時代が終わった。
- ウ 家庭ごみを庭で燃やすなど、自分で処理する人が増えた。
- エ 家電リサイクル法など、リサイクルを進める法律の整備が進んだ。
- オ レジ袋を有料化するなど、ごみ減量に向けた取り組みが広がった。

2 高度経済成長期のできごとについてのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

- ア 円の価値が上昇し続け、貿易摩擦が発生した。
- イ エネルギー資源の中心が石炭から石油に移行した。
- ウ 日本銀行が国民所得倍増計画を発表し、経済成長を加速させた。
- エ アジア初のオリンピックが東京で開かれた。
- オ ソ連との間に平和条約が結ばれ、北方領土が2島のみ返還された。

3 ごみ処理に関連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 産業廃棄物は危険物をふくむため、政府と地方自治体のみが処理を認められている。
- イ 燃えないごみのうち、リサイクルできないものは、最終処分場に埋められる。
- ウ ごみを燃やした後の灰は、セメントやスラグに加工して、工事材料などに使うことができる。
- エ ごみを燃やしたときに出る熱は、大気中に放出されてしまうため、発電などに利用することはできない。
- オ ごみの焼却施設と最終処分場の多くは、財政にゆとりのある大都市に立地している。

'17	社	6
中		9

- 4 環境保護に関連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。
- ア 持続可能な社会を実現するためには、豊かな生活と環境保護とのバランスを考えることが求められる。
- イ 太陽光や風力などのエネルギーは環境にやさしい特長をもち、温暖化や大気汚染の原因になりにくいとされている。
- ウ 温暖化対策の国際的な枠組みとしてパリ協定が採択されたが、アメリカと中国はこれに参加していない。
- エ 国際連合は、ユニセフを中心として地球の環境保護に取り組んでいる。
- オ 環境保護のためには、政府や国際機関だけでなく、NGOや市民団体などの協力も重要である。
- 5 NIMBY問題に関連してのべた文として正しくないものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 日本では、これまでに原子力発電所や在日米軍基地などの施設が問題になってきた。
- イ ごみの処分場建設の場合、自然環境への悪影響や衛生環境の悪化が問題になる。
- ウ 施設によって利益を受ける人々と被害を受ける人々が異なる場合、問題は起こりにくい。
- エ 大都市圏と地方、政府と地方自治体の対立に発展している問題もある。
- オ 施設の受け入れをめぐって住民投票を行う場合、衆議院議員選挙の投票権をもつ全国の有権者が投票する。
- 6 拡大生産者責任の考え方を導入するねらいとして適切でないものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
- ア リサイクルしやすい素材でつくった製品が開発される。
- イ 容器包装がコンパクトになったり無包装になったりして、ごみの量が減る。
- ウ 販売価格が引き下げられ、消費者が得をする。
- エ 製品の使用によって健康被害を受けた消費者を保護する。
- オ 製品の設計や性質を知る生産者の取り組みによって、効果的なリデュースとリサイクルを実現する。

3 つぎの年表と文章を参考にして、あとの1から7までの各問いに答えなさい。

【沖縄に関する年表】

前30000～ 旧石器時代	1853 ( C )が那覇に來航
前5000～ 貝塚時代	1854 琉米修好条約が締結される
605 中国の歴史書に初めて「流求国」の記事(『隋書』)	1879 「大きな変化」
753 ( A )・阿倍仲麻呂が沖縄島に漂着	1898 ( D )施行 → 日露戦争に従軍する
1314頃 三山(北山・中山・南山)が分立	1912 初の衆議院議員選挙が実施される
1372 中山王が明皇帝に使いを送る → 大交易時代へ	1940 方言撲滅運動が起こる
1429 尚巴志が三山を統一する = 琉球王国が成立	1944 沖縄島を中心に( E )を受け500名以上が犠牲に
1570 南方貿易が途絶える → 大交易時代が終わる	1945 沖縄戦
1592 ( B )から軍役(米と資金)を求められる	1951 ( F )調印 → 沖縄はアメリカの占領がつづく
1609 島津氏の侵攻を受け支配下に入る	1972 沖縄返還
→ 琉球を介した日明貿易復活の交渉は失敗	1996 普天間飛行場返還と代替基地建設が日米間で合意
1634 初めて幕府に使節を送る	2000 「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録

'17	社	7
中		9

伊波普猷いはふゆうという人を知っていますか。普猷は、故郷の沖縄について、歴史、文化、言語、宗教などさまざまな分野にわたる研究を生涯かけて行いました。学問のわくをこえ、沖縄をまるごとつかもうとした普猷は「沖縄学の父」とよばれています。彼がどのような状況じょうきょうのなかで沖縄に着目していったのかについてみてみましょう。

伊波普猷は1876(明治9)年、現在の那覇市ゆふくの裕福な家の長男として生まれ、何ひとつ不自由なく育ちました。ところが、普猷が生まれた3年後、沖縄には大きな変化が起きます。こののち、学校では日本人としての教育がすすめられるようになっていきました。1891年、小学校を卒業した普猷は中学校(当時は尋常中学校じんじょうという名で、5年間通いました)に入学しますが、この中学校時代に普猷が沖縄研究に向かうきっかけとなった2つのできごとが起きます。一つは、田島利三郎先生との出会いです。1893年、田島先生は国語の先生として普猷の通っていた中学校に赴任してきました。田島先生は教師を務めるかわら、沖縄の言語に関する資料はくつの発掘や研究を進めていました。沖縄の古い歌『おもろさうし』を研究し、「沖縄にはすばらしい文化がある」と教えていた人で、生徒たちに人気がありました。もう一つは、1895年に中学校で起こったストライキ事件です。校長先生が生徒の前で「みなさんは標準語さえまともに話せないのに、英語まで勉強しなければならず気の毒だ」と語り、英語の授業をなくそうとしました。そして、自分の意見に反対する教頭先生や田島先生を辞めやさせてしまいました。これに怒おこった普猷たちはストライキを起し、「沖縄をばかにしている」と校外の人々も普猷たちを応援しました。校長先生は沖縄から出ていったものの、普猷たちも学校を辞めさせられてしまいました。

その後、普猷は京都の第三高等学校在学中に沖縄の郷土史研究を始め、1903年に東京帝国大学に入学し、「沖縄を知るには、まず古い言葉がわからなければ」と言語学を学びました。また、普猷は田島先生と再会し、先生が集めた沖縄研究の資料をゆずり受け、沖縄の歴史や文化への研究を本格化させていきました。1906年、大学を卒業するとすぐに沖縄にもどり、資料の収集や古老からの聞き取りを積み重ねる一方、沖縄の歴史や文化をひとつひとつに伝える活動を始めました。1924(大正13)年、研究中心の生活を送るため約14年間続けた図書館長を辞めて再び上京し、研究成果を本や新聞に発表しました。こうした普猷の一連の活動は、しだいに沖縄の人たちに自信をあたえ、沖縄のすばらしさが見直されるようになりました。沖縄学の基礎を築いた普猷は、1947(昭和22)年に72歳さいでこの世を去りました。

普猷は「汝なんじの立つところを深く掘れ、そこには泉あり」というドイツの哲学者ニーチェてつがくしゃのことばを借りて、自分の生まれ育った地域について学ぶことの大切さをのべています。沖縄を学ぶことだけが沖縄学の目的ではありません。地域には先人の知恵ちえや自分自身の存在理由をときあかしてくれるヒントがうまっており、それらを掘り起こして見つめ直すことが、すべてのものの見方、考え方を養う礎いしづえとなるのです。

1 年表中の( A )～( C )にあてはまる人物を考え、その人物に関する文として正しいものを、つぎのAからコまでの中から二つずつ選び、その記号を書きなさい。

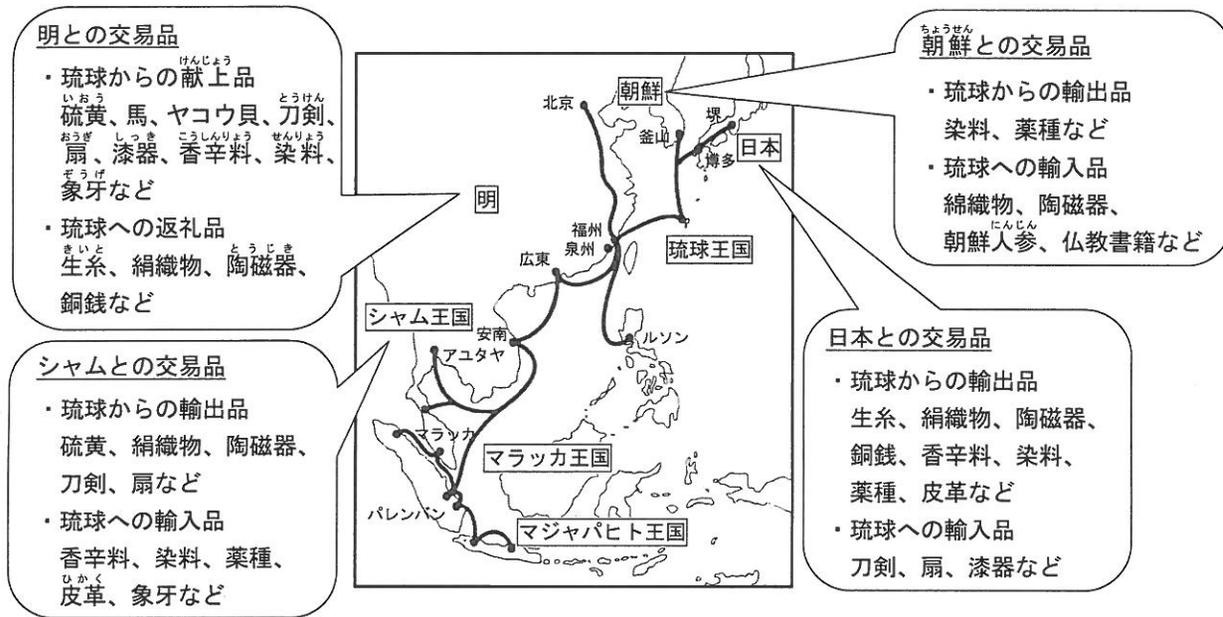
- ア 弟子たちとともに大仏づくりに協力した。
- イ 漂流民の保護などを求める大統領からの国書を幕府に差し出した。
- ウ 朝廷ちやうていから関白に任じられた。
- エ 上海シャンハイを経由して浦賀うらがに来航した。
- オ 検地かたながりや刀狩を行った。
- カ 唐招提寺を開いた。
- キ 将軍足利義昭を京都から追放した。
- ク 朝廷せいいたいしやうぐんから征夷大將軍に任じられた。
- ケ 日米修好通商条約を結んだ。
- コ 度重なる航海の失敗の後、ようやく日本にたどり着いた。

'17	社	8
中		9

2 年表中の ( D ) ~ ( F ) にあてはまることばを考え、そのことばに関する文として正しいものを、つぎの A から C までの中から一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- A 条約を結んだ同じ日に日米安全保障条約が結ばれた。
- I 20歳以上の男子に兵役の義務を定めた。
- U 東北地方や北海道の都市は被害を受けなかった。
- E アメリカ軍は太平洋の島々を占領し、爆撃機による日本本土への攻撃を始めた。
- O アメリカ合衆国の他、ソビエト連邦や中華人民共和国などの国々と調印した。
- K 20歳になった男子のもとへは、兵役につくための検査を受けるよう書かれた「赤紙」が届いた。

3 つぎは大交易時代の琉球王国と他国との交易のようすを表した地図と表である。これらから読みとれることとして正しくないものを、下の A から C までのなかからすべて選び、その記号を書きなさい。



- A 琉球王国は明に使いを送り、東南アジアの刀剣や扇、日本の馬などを貢ぎ物として皇帝に献上した。
- I 琉球王国は明から得た生糸や陶磁器、銅銭などを、日本などへ輸出していた。
- U 琉球王国の輸出品のうち、硫黄やヤコウ貝は琉球産だった。
- E 琉球王国の貿易ルートの南端は安南やアユタヤであった。
- O 日本は琉球王国を通じて、東南アジアの染料や薬種などを得ていた。

4 つぎは島津氏の侵攻後の琉球王国のようすを表した文である。琉球王国と薩摩藩はなぜこのような「隠しごと」をしたのか。その理由についてのべた下の文の ①、② にあてはまる漢字2字を、年表あるいは本文中から選んで答えなさい。

琉球に中国からの使いがやってくると、薩摩の役人は身を隠した。日本の年号や日本人名が入った書類は隠したり、日本のお金を使ったり歌をうたったりすることも禁止した。もし、日本との関係をうたがわれたら「日本の支配下にある宝島(現在の鹿児島県トカラ列島の一部)と交流しているためである」とごまかすことにしていました。

'17	社	9
中		9

(「隠しごと」をした理由)

中国は皇帝へ使いを送って来ない日本との①を認めなかった。そのため、薩摩藩は琉球王国に中国との①を続けさせてその利益を得ようと考えた。また、琉球王国は薩摩藩に②されていることを隠してこれまで通り中国との関係を維持し、王国を存続させようと考えた。

5 文中の大きな変化とはなにか。次の文の①、②にあてはまることばを答えなさい。

明治政府によって①が設置され、②がなくなった。

6 つぎは沖繩戦の戦没者数の表である。沖繩戦がどのような戦争であったかをふまえ、表の( )にあてはまることばを答えなさい。

日本側戦没者	188,136人
県外出身日本兵	65,908人
県出身軍人・軍属	28,228人
( )	(推定) 94,000人
米軍戦没者	12,520人
合計	200,656人

7 つぎは伊波普猷の生涯を表にまとめたものである。年表中の①から⑦それぞれの時期におこったできごとをアからコまでの中から1つ以上選び、その記号を書きなさい。

①	伊波普猷が生まれる
②	伊波普猷が中学校に入学する
③	伊波普猷がストライキ事件を起こす
④	伊波普猷が図書館の館長になる
⑤	伊波普猷が再上京する
⑥	伊波普猷が亡くなる
⑦	

- ア 日清戦争が起こる。
- イ 日本国憲法が公布される。
- ウ 「本土」で第一回衆議院議員選挙が行われる。
- エ 日中戦争が起こる。
- オ ロシアと条約を結んで韓国に対する支配を強める。
- カ 関東大震災が起こる。
- キ 男子普通選挙の制度が定められる。
- ク 朝鮮戦争が起こる。
- ケ 自由民権運動の影響を受け、政府が国会を開くことを約束する。
- コ 「本土」で最初の学校制度が定められる。

'17 — 中	社
---------------	---

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

解 答 用 紙

1	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

評 点	
--------	--

2	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	

3	1	A		B		C		
	2	D		E		F		
	3							
	4	①			②			
	5	①			②			
	6							
	7	①			②			③
④				⑤			⑥	
⑦								